

図書サークルによる「読み聞かせ活動」。
読み聞かせのある昼休みには、多くの子どもたちが集まってきます。



子どもたちの 笑顔をつくる 読み聞かせ活動



やとみ
しらとり
白鳥小PTA



研修部による「読み聞かせ活動」。子どもたちは興味しんしんで本に迫り、読んでいるお母さんも笑顔になります。



創立50周年記念として、全員で校章を形づくった時の航空写真。

弥富市立白鳥小学校は今年度、創立五十周年を迎えました。広大な田園に線路が伸びる風景の中で、子どもたちがのびのびと元気に育っています。白鳥小PTAでは登下校の見守りや広報活動など多岐にわたってさまざまな活動を行っています。今回は白鳥小名物の「本の読み聞かせ」を紹介いたしましょう。

本校PTAが行う「読み聞かせ」には、研修部の「朝の読み聞かせ」と図書サークルによる「昼の読み聞かせ」があります。月に一、二回程度の読み聞かせの機会があることで、子どもたちが自然と笑顔になり、本に親しみをもってくれています。メンバーからは「たくさんの子どもたちが集まってくれて、『おもしろかったよ!』と言ってくれるとやりがいを感じます。」「人生に役立つ大切な言葉を、高学年の子どもたちに聞かせたい!」と熱い思いが伝わってきます。コロナ禍の中で感染防止対策は不可欠ですが、ふれ合いや感動を大切にして活動をしています。

学校 DATA

所在地●弥富市前ヶ平二丁目1896の3 児童数●257人 周辺環境●弥富市の特産「白文鳥」の発祥の地にちなんで名づけられた白鳥小学校は、昭和48年開校。保護者と協力し、地域の人材を活用しながら教育活動を展開する。また、海抜ゼロメートル地帯に位置することから地域の防災拠点でもある。